

令和3年度福島県公立学校教員採用候補者選考試験実施要項

福島県教育委員会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響等で、試験期日や内容等に変更がある場合には、福島県教育委員会のウェブページでお知らせします。(アドレス <https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/edu/>)

◆ 福島県では、未来を担う子どもたち一人一人の「確かな学力」、「豊かなこころ」及び「健やかな体」の育成を図ることができる次のような教師を求めています。

- ① 児童生徒の人権を尊重し、教育的愛情と教育に対する情熱、使命感を持って常に学び続ける教師
- ② 教育者としての深い専門性や幅広い教養を持ち、実践的指導力のある教師
- ③ 社会人として心身共に健康で、高い倫理観と自律心を持ち、個性豊かで児童生徒、保護者、地域住民から信頼される教師

※ 「福島県版 校長及び教員としての資質の向上に関する指標（平成29年12月 福島県教育委員会）」における「ステージ0 福島県が求める着任時の姿」も確認してください。

1 目的

本試験は、令和3年度福島県公立学校教員採用候補者を選考するために実施します。

2 募集する校種、教科(科目等)及び採用予定者数

校種等	教 科 (科目等)	採用予定者数
小 学 校 教 諭		280名程度
中 学 校 教 諭	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語	130名程度
高 等 学 校 教 諭	国語、地理歴史(世界史、日本史、地理)、公民(倫理、政治・経済)、数学、理科(物理、化学、生物、地学)、保健体育、音楽、美術、英語、家庭、農業(作物・園芸、農業土木、食品科学、畜産)、工業(機械、電気・電子、建築・土木、工業化学)、商業、水産(海洋工学)	40名程度
特別支援学校教諭	小学部、中学部(中学校教諭と同一教科)、高等部(高等学校教諭と同一教科・科目。ただし、理療を加え、水産を除く。)	60名程度
養 護 教 諭		30名程度

(注) (1) 採用予定者数には、特別選考による採用予定者数を含みます。

(2) 小学校教諭、中学校教諭の採用予定者数には、市町村立の特別支援学校における採用予定者数を含みます。

(3) 高等学校及び特別支援学校高等部の地理歴史、公民、理科、農業、工業及び水産(高等学校のみに限る。)については、それぞれ()に示した科目等ごとに選考します。

(4) 日本国籍を有しない者が名簿登載された場合は、任用の期限を付さない講師(常勤)に任用します。

3 選考区分、受験資格及び選考方法

(1) 一般選考

ア 受験資格

次の(ア)～(リ)の要件をすべて満たす者

(ア) 校種等に応じ、下表に掲げる教員免許状を有する者又は令和3年3月31日までに取得見込みの者

校種等	必要とする教員免許状
小 学 校 教 諭	小学校教諭普通免許状
中 学 校 教 諭	中学校教諭普通免許状(志願する教科の免許状)
高 等 学 校 教 諭	高等学校教諭普通免許状(志願する教科の免許状) ただし、以下の教科及び科目等については、次の要件を満たす者とする。 ○ 水産(海洋工学)については、「商船」又は「水産」の免許状を有すること。
特別支援学校教諭	小学部…特別支援学校教諭普通免許状及び小学校教諭普通免許状 中学部…特別支援学校教諭普通免許状及び中学校教諭普通免許状(志願する教科の免許状) 高等部…次の①、②、③のいずれかの要件を満たす者とする。 ① 特別支援学校教諭普通免許状及び高等学校教諭普通免許状(志願する教科の免許状)を有すること。 ② 高等学校教諭普通免許状(志願する教科の免許状)を有すること。 (②に該当する方は、採用後できるだけ早い時期に、特別支援学校教諭普通免許状を取得することを条件とします。) ③ 理療を志願する場合は、特別支援学校教諭普通免許状自立教科(理療)を有すること。
養 護 教 諭	養護教諭普通免許状

- (注) (1) 次の場合は、令和3年度選考試験(令和2年度実施)においては教員免許状取得見込みとみなしません。
- ① 令和2年度教員資格認定試験を受験し、免許状を取得しようとする場合
 - ② 令和2年度に実施される保健師国家試験を受験し、養護教諭免許状を取得しようとする場合
- (2) 必要とする教員免許状が令和3年3月31日までに取得できなければ、登載名簿から削除されます。

(3) 免許更新手続きについて

次の場合はいずれも出願することができますが、教員免許更新手続きを適期に行う必要がありますので注意してください。

① 修了確認期限が令和3年3月31日の者

令和3年1月31日までに、更新申請(更新講習30時間以上を受講修了し、免許管理者(都道府県教育委員会)に更新講習修了確認申請を行う)をしなければ、教員として採用することはできません。

② 修了確認期限が令和2年3月31日以前であった者

採用の日までに、免許管理者より更新講習修了確認等の証明書が発行されていなければ、教員として採用することはできません。

(4) 高等学校の「社会」の免許状所有者は、地理歴史又は公民のいずれか1教科に出願できます。

(イ) 地方公務員法第16条及び学校教育法第9条の欠格条項に該当しない者

(ウ) 昭和36年4月2日以降に生まれた者(令和3年4月1日現在の年齢が60歳未満の者)

イ 選考方法

(ア) 第一次選考試験

出願書類審査、筆答試験、実技試験(小学校、中学校の音楽、美術、保健体育、技術、家庭、高等学校の保健体育、音楽、美術、家庭及び特別支援学校受験者のうちこれらに該当する者)及び集団面接によるものとし、これらについて一定の基準を満たす受験者の中から総合的に選考します。

(イ) 第二次選考試験

出願書類審査、模擬授業(養護教諭受験者については場面指導)、小論文、個人面接、集団討論、適性検査及び身体検査の結果によるものとし、これらについて一定の基準を満たす受験者の中から総合的に選考します。

(2) 特別選考Ⅰ(教職経験者特別選考)

ア 受験資格

次の(ア)及び(イ)の要件をすべて満たす者

(ア) 教諭や養護教諭(任期付又は臨時的任用によらない採用者)として現職にあり、令和2年4月1日現在継続して2年以上の教職経験がある者、又は教諭や養護教諭(任期付又は臨時的任用によらない採用者)として過去に継続して2年以上の教職経験がある者。ただし、幼稚園での教諭経験は除きます。

(イ) 「(1) 一般選考 ア 受験資格」に示した受験資格をすべて有する者

イ 選考方法

(ア) 第一次選考試験

出願書類審査、小論文、学習指導案作成・模擬授業(※)、実技試験(中学校の音楽、美術、保健体育、技術、家庭、高等学校の保健体育、音楽、美術、家庭)及び個人面接によるものとし、これらについて経験と実績を重視した上で、一定の基準を満たす受験者の中から総合的に選考します。

※ 学習指導案作成・模擬授業は、高等学校の保健体育、音楽、美術及び家庭以外の受験者に課します。

また、養護教諭は論述試験、特別支援学校教諭は特別支援教育についての実践的指導内容・方法についての試験とします。

(イ) 第二次選考試験

出願書類審査、模擬授業(養護教諭受験者については場面指導)、小論文、個人面接、集団討論、適性検査及び身体検査の結果によるものとし、これらについて一定の基準を満たす受験者の中から総合的に選考します。

(3) 特別選考Ⅱ(臨時的任用職員等経験者特別選考)

ア 受験資格

次の(ア)及び(イ)の要件をすべて満たす者

(ア) 福島県内の公立学校(小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校)及び同県内の国立大学法人附属学校において、任期付職員又は臨時的任用職員(福島県内の市町村が任命し、自ら設置する小学校、中学校、義務教育学校で任用している任期付職員、臨時的任用職員を含む。)として直近の3年度間(平成29年4月1日～令和2年3月31日)に、通算15ヶ月以上の教職経験がある者

1日でも勤務した月は、1ヶ月と見なします。

また、非常勤として週3日以上(1日の勤務時間は問わない。)任用されている期間は、教職経験として通算できます。

(イ) 「(1) 一般選考 ア 受験資格」に示した受験資格をすべて有する者

イ 選考方法

(ア) 第一次選考試験

出願書類審査、筆答試験(教職教養[共通問題]を除く。)、実技試験(中学校の音楽、美術、保健体育、技術、家庭、高等学校の保健体育、音楽、美術、家庭及び特別支援学校受験者のうちこれらに該当する者)及び集団面接によるものとし、これらについて一定の基準を満たす受験者の中から総合的に選考します。

(イ) 第二次選考試験

出願書類審査、模擬授業(養護教諭受験者については場面指導)、小論文、個人面接、集団討論、適性検査及び身体検査の結果によるものとし、これらについて一定の基準を満たす受験者の中から総合的に選考します。

(4) 障がいのある志願者への合理的配慮の提供

「(1) 一般選考」、「(2) 特別選考Ⅰ」又は「(3) 特別選考Ⅱ」に示した受験資格のいずれかに該当する志願者の中で、障がいのあることを証明する「身体障害者手帳」等を所有し、障がいの状態等に応じた「問題や解答用紙の拡大」「手話通訳者の配置」等の合理的配慮の提供を必要とする方は、「志願書」及び「障がいのある志願者への合理的配慮の提供に関する申請書」に必要事項を記入の上、「身体障害者手帳」等の写しを添えて出願してください。

障がいの状態やこれまで受けてきた支援の内容を勘案し、合理的配慮の提供を個別に決定します。

(5) 選考方法及び出願の特例

ア 第一次選考試験免除

令和2年度福島県公立学校教員採用候補者選考試験(令和元年度実施)の第一次選考試験に合格して、第二次選考試験を有効に受験し名簿登載にならなかった受験者(採用辞退者を除く。)については、令和3年度選考試験(令和2年度実施)において、令和2年度選考試験と同一の校種等、教科(科目等)を志願する場合は、出願の際、志願書に必要事項を記入して申し出ることにより、第一次選考試験の受験を免除します。

なお、本取扱いは、**第一次選考試験(併願の場合は第一志望)に合格して第二次選考試験を受験し、名簿登載にならなかった年度の翌年度に限るものであることに注意してください。**

イ 英語教科試験における加点

(ア) 小学校教諭、特別支援学校教諭小学部の志願者で、次の①～③のうち1つ以上を出願時に取得している場合、志願書に必要事項を記入するとともに、証明書のコピー等を提出することにより、英語教科試験において、加点(2点)します。

- ① 実用英語技能検定2級以上
- ② TOEFL iBT 45点以上(PBT 450点以上でも可)
- ③ TOEIC 550点以上

(イ) 中学校教諭、高等学校教諭及び特別支援学校教諭中学部又は高等部の英語志願者で、次の①～③のうち1つ以上を出願時に取得している場合、志願書に必要事項を記入するとともに、証明書のコピー等を提出することにより、英語教科試験において、加点(12点)します。

- 中学校教諭及び特別支援学校教諭中学部の英語志願者
 - ① 実用英語技能検定準1級以上
 - ② TOEFL iBT 80点以上(PBT 550点以上でも可)
 - ③ TOEIC 730点以上
- 高等学校教諭及び特別支援学校教諭高等部の英語志願者
 - ① 実用英語技能検定1級
 - ② TOEFL iBT 96点以上(PBT 590点以上でも可)
 - ③ TOEIC 880点以上

※ 全ての校種において、資格を取得した期日を問わないこととします。

ウ 「情報」免許状取得に係る加点

高等学校教諭、特別支援学校教諭高等部の志願者で、出願時に「情報」の免許状を取得している場合、志願書に必要事項を記入するとともに、証明書のコピー等を提出することにより、教科試験において、加点(6点)します。

エ 複数免許状取得に係る加点

(ア) 小学校教諭の志願者で、次の①、②のうち1つ以上を出願時に取得している、又は取得見込みの場合、志願書に必要事項を記入するとともに、証明書のコピー等を提出することにより、教科試験において、加点(6点)します。

- ① 中学校教諭免許状
- ② 特別支援学校教諭免許状

(イ) 中学校教諭の志願者で、次の①～③のうち1つ以上を出願時に取得している、又は取得見込みの場合、志願書に必要事項を記入するとともに、証明書のコピー等を提出することにより、教科試験において、加点(6点)します。

- ① 小学校教諭免許状
- ② 受験教科以外の中学校教諭免許状
- ③ 特別支援学校教諭免許状

なお、複数免許状取得ができないことが分かった時点で、速やかに報告してください。

また、加点申請をした者が、免許状を複数取得することができなければ、名簿登載された後でも名簿か

ら削除される場合があります。

オ 特別支援学校との併願

志願者は、1つの校種及び教科(科目等)に限り出願できるものとし、二重出願及び複数教科(科目等)にわたる出願は認めません。

ただし、小学校又は中学校の志願者(特別選考Ⅰ及びⅡによる受験者を除く。)で、特別支援学校教諭普通免許状を所有(令和3年3月31日までに取得見込みの者を含む。)している場合、志願書に必要事項を記入して申し出ることにより、特別支援学校を第二志望とすることができます。

なお、第一次選考においては、第一志望の校種、教科で受験することになります。

また、可否の取扱いは、次のとおりです。

- (ア) 特別支援学校を第二志望とした者が第一志望の校種の第一次選考に合格した場合には、第二次選考試験において、第一志望の校種の試験に加え、特別支援学校の試験も受けることになります。

なお、第二次選考の可否判定において第一志望の校種が不合格になった場合は、特別支援学校受験者として再度選考され、合格した場合は特別支援学校教諭の名簿登載者となります。

- (イ) 第一志望の校種の第一次選考が不合格になった者が、第二志望の特別支援学校第二次選考の受験資格を得た場合は、特別支援学校の第二次選考試験のみ受けることになります。

これにより、第二次選考では特別支援学校受験者として選考され、合格した場合は特別支援学校教諭の名簿登載者となります。

カ 中学校と高等学校との併願

志願者は、1つの校種等・教科(科目等)に限って出願できますが、以下の場合に限り、志願書に必要事項を記入して申し出ることにより併願を認めます。

- (ア) 中学校又は高等学校の国語、数学、英語の志願者(特別選考Ⅰによる受験者を除く。)は、同一教科について受験する場合に限り、第二志望としてそれぞれ高等学校又は中学校の国語、数学、英語を併願することができます。(※ ただし、特別支援学校との併願はできません。)

- (イ) 第一次選考試験における国語、数学、英語併願受験者の選考について

第一志望の校種・教科(国語、数学、英語)で第二次選考試験受験対象者とならない者について、第二志望の校種・教科(国語、数学、英語)において再度選考を行い、第二次選考試験受験対象者とする場合があります。

なお、第二次選考試験では第一次選考試験で通過した校種・教科(国語、数学、英語)の受験者として選考し、合格した場合は当該校種・教科(国語、数学、英語)による名簿登載者となります。

※ 採用後は原則として、採用された校種において異動することとなります。

キ 地域採用枠の設置(小学校教諭受験者)

- (ア) 小学校の一般選考、特別選考Ⅰ、特別選考Ⅱにおいて、「奥会津採用枠」「相双採用枠」を設定します。志願書に必要事項を記入して申し出ることにより、どちらか1つの地域採用枠のみ希望することができます。(※ ただし、特別支援学校との併願はできません。)

- (イ) 地域採用枠における勤務地区は、次のとおりです。

＜奥会津採用枠＞

南会津西部【南会津町(館岩、南郷、伊南)、只見町、檜枝岐村】

両沼西部【三島町、金山町、昭和村】

＜相双採用枠＞

相馬【新地町、相馬市、南相馬市、飯館村】

双葉【葛尾村、双葉町、浪江町、大熊町、富岡町、川内村、広野町、檜葉町】

(※ 採用後は、同地区に10年程度勤務することとなります。)

- (ウ) 一般選考、特別選考Ⅰ、特別選考Ⅱの選考区分の受験者と同様の試験を行います。第一次選考試験を地域採用枠で受験し、第二次選考試験受験対象者とならない場合でも、一定の基準を満たす者は、一般選考、特別選考Ⅰ、特別選考Ⅱの第二次選考試験対象者となります。

なお、第二次選考試験において地域採用枠での採用候補者とならない場合でも、一定の基準を満たす者は名簿登載者となります。

4 選考試験の会場、日程、内容等

(1) 第一次選考試験の受験校種等・教科別の実施日

【一般選考】【特別選考Ⅱ】 校種等・教科	7月18日(土) 筆答試験・面接	7月19日(日) 実技試験
ア 小学校教諭受験者	○	○ ※
イ 中学校教諭の国語、社会、数学、理科、英語受験者	○	—
ウ 中学校教諭の音楽、美術、保健体育、技術、家庭受験者	○	○

エ 高等学校教諭の国語、地理歴史、公民、数学、理科、英語、農業、工業、商業、水産受験者	○	—
オ 高等学校教諭の保健体育、音楽、美術、家庭受験者	○	○
カ 特別支援学校教諭受験者のうちイ、エのいずれかの校種・教科で受験する者	○	—
キ 特別支援学校教諭受験者のうちア、ウ、オのいずれかの校種・教科で受験する者	○	○ ※
ク 養護教諭受験者	○	—

※ 小学校及び特別支援学校小学部の特別選考Ⅱにおいては、実技試験を行いません。

【特別選考Ⅰ】 校種等・教科	7月18日(土) 小論文・面接等	7月19日(日) 実技試験
ア 小学校教諭受験者、養護教諭受験者	○	—
イ 中学校教諭の国語、社会、数学、理科、英語受験者	○	—
ウ 中学校教諭の音楽、美術、保健体育、技術、家庭受験者	○	○
エ 高等学校教諭の国語、地理歴史、公民、数学、理科、英語、農業、工業、商業、水産受験者	○	—
オ 高等学校教諭の保健体育、音楽、美術、家庭受験者	○	○
カ 特別支援学校教諭受験者	○	—

筆答試験・面接等

ア 期日 令和2年7月18日(土)

イ 試験会場等 ※ 受験者の駐車場はありませんので、自家用車での来場は認めません。また、車での送迎やタクシーを利用する場合も、会場周辺での乗降は避けてください。

※ 受験者数により試験会場が変更になる場合は、別途、受験者に通知します。

校種等・教科		試験会場	交通手段
小学校教諭 (特別選考Ⅰを除く)		福島市立北信中学校 (福島市鎌田字御仮家20 電話024-553-5049)	東福島駅(福島駅より東北本線で6分)下車、徒歩5分
小学校教諭 (特別選考Ⅰ)		福島市立福島第一中学校 (福島市南町480 電話024-546-3504)	福島駅東口よりバス5分と徒歩3分、徒歩では20分
中学校教諭	国語、数学、理科	福島大学附属小学校 (福島市新浜町4-6 電話024-534-6441)	福島駅東口よりバス10分と徒歩1分、徒歩では20分
	社会、英語、音楽 技術	福島市立福島第四中学校 (福島市南平5-8 電話024-535-4240)	福島駅東口よりバス10分と徒歩5分、徒歩では20分
	美術、保健体育、 家庭	福島大学附属中学校 (福島市浜田町12-26 電話024-534-6442)	福島駅東口よりバス10分と徒歩2分、徒歩では25分
高等学校教諭		福島県立橘高等学校 (福島市宮下町7-41 電話024-535-3395)	福島駅東口よりバス10分と徒歩2分、徒歩では20分
特別支援学校教諭		福島県立福島高等学校 (福島市森合町5-72 電話024-535-2391)	福島駅東口よりバス5分と徒歩1分、徒歩では15分
養護教諭		福島市立福島第一中学校 (福島市南町480 電話024-546-3504)	福島駅東口よりバス5分と徒歩3分、徒歩では20分

ウ 日程

受付	9:00 ～ 9:20(各試験会場、各教室で行います。)
諸連絡・諸注意	9:20 ～ 10:00
筆答試験、集団面接等	10:20 ～ 16:30(受験者数により終了時刻が前後することがあります。) ※ 面接終了後、順次解散(選考区分、校種、グループにより終了時刻は異なります。)

エ 内容

区分	校種等・教科		試験内容・時間		
一般選考	小 学 校 教 諭		教科試験(100分) (国語・算数各20分 英語(リスニングを含む) 10分 他の教科50分)	教職教養試験(30分) 小学校・中学校 共通問題	集団面接 (1グループ 30分)
	中 学 校 教 諭	国語、社会、数学、理科、 英語	教科試験(100分)		
		保健体育、音楽、美術、 技術、家庭	教科試験(60分)		
	高等学校教諭	国語、地理歴史、公民、 数学、理科、英語、農業、 工業、商業、水産	教科試験(100分)	教職教養試験(30分) 高等学校 共通問題	
		保健体育、音楽、美術、 家庭	教科試験(60分)		
	特別支援 学校教諭	小学部	教科試験 小学校教諭と同じ。	教職教養試験(30分) 特別支援学校 共通問題	集団面接 (1グループ 30分)
		中学部(全教科)	教科試験 中学校教諭と同じ。		
		高等部(全教科)	教科試験 高等学校教諭と同じ。 ただし、理療は教科試験 (100分)		
養 護 教 諭		養護に関する専門科目 試験(60分)	教職教養試験(30分) 養護教諭共通問題	集団面接 (1グループ 30分)	
特別選考Ⅰ	小 中 学 校 教 諭 全 教 科		小論文(50分)	学習指導案作成 (60分)	模擬授業・個人面接(計25分)
	高等学校教諭	国語、地理歴史、公民、 数学、理科、英語、農業、 工業、商業、水産		学習指導案作成 (50分)	模擬授業(15分) 個人面接(10分)
		保健体育、音楽、美術、 家庭		個人面接(10分)	
	特 別 支 援 学 校 教 諭			特別支援教育についての実践的指導内容 ・方法についての試験(60分)	個人面接(15分)
	養 護 教 諭			論述試験(60分)	個人面接(15分)
特別選考Ⅱ	小 学 校 教 諭		教科試験(100分) (国語・算数各20分 英語(リスニングを含む) 10分 他の教科50分)		
	中 学 校 教 諭	国語、社会、数学、理科、 英語	教科試験(100分)		
		保健体育、音楽、美術、 技術、家庭	教科試験(60分)		
	高等学校教諭	国語、地理歴史、公民、 数学、理科、英語、農業、 工業、商業、水産	教科試験(100分)		
		保健体育、音楽、美術、 家庭	教科試験(60分)	集団面接 (1グループ 30分)	
	特別支援 学校教諭	小学部	教科試験 小学校教諭と同じ。		
		中学部(全教科)	教科試験 中学校教諭と同じ。		
		高等部(全教科)	教科試験 高等学校教諭と同じ。 ただし、理療は教科試験 (100分)		
養 護 教 諭		養護に関する専門科目 試験(60分)			

※ 全ての「教科試験」には「教科に関する教職教養問題」を含みます。

オ 試験科目等

(ア) 高等学校受験者及び特別支援学校高等部受験者の教科試験の試験科目等は、国語、数学、保健体育、音楽、美術、英語、家庭以外の教科については、下表のとおりです。

教科	共通問題	選択問題（１科目等又は１分野を選ぶ。）
地理歴史	地理歴史科の基礎的内容	「世界史」、「日本史」、「地理」
公民	公民科の基礎的内容	「倫理」、「政治・経済」
理科	理科の基礎的内容	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」
農業	農業科の基礎的内容	「作物・園芸」、「農業土木」、「食品科学」、「畜産」
工業	工業科の基礎的内容	「機械」、「電気・電子」、「建築・土木」、「工業化学」
商業	商業科の基礎的内容	「マーケティング・ビジネス経済分野」、「会計分野」、「ビジネス情報分野」
水産	水産科の基礎的内容	「海洋工学」

※ 商業は、選択分野を志願書に記入して申し出ることとします。その他の教科は志願する科目等を選択問題とします(出願後の変更は認めません。)

(イ) 特別選考Ⅰの学習指導案、論述試験の課題等は当日提示します。

カ 当日の携行品

- (ア) 受験票 (イ) 上履き (ウ) 下足を入れる袋等 (エ) 昼食 (オ) 健康保険証 (カ) マスク
 (キ) 筆記用具(小学校教諭受験者は、鉛筆を含む。)
 (ク) 第一次選考試験結果通知のための返信用封筒(角形２号の封筒(糊付きのもの)に140円切手を貼付したもの。表面に志願者の郵便番号、住所、氏名を記入するとともに、封筒表面左下部に校種等・教科科目等・受験番号を記入して提出してください。)
 (ケ) 算数、数学の受験者は、教科試験で分度器、コンパスの使用を不可とします。
 (コ) 農業、工業、商業受験者は、教科試験で次に示す用具を使用することが可能ですので準備してください。
 農業(農業土木のみ)…電卓(関数メモリーのあるもの。ただし、ポケットコンピュータは不可。)
 工業…電卓(関数メモリーのあるもの。ただし、ポケットコンピュータは不可。)、定規
 商業…そろばん又は電卓、定規

実技試験

ア 期日 令和２年７月19日(日)

イ 試験会場等 ※ 受験者の駐車場はありませんので、自家用車での来場は認めません。また、車での送迎やタクシーを利用する場合も、会場周辺での乗降は避けてください。

	教科等	試験会場	交通手段
小学校教諭	男性受験者	福島市立福島第一中学校 (福島市南町480 電話024-546-3504)	福島駅東口よりバス5分と徒歩3分、徒歩では20分
	女性受験者 (どちらの会場になるかは、受験票で通知します。)	福島市立北信中学校 (福島市鎌田字御仮家20 電話024-553-5049)	東福島駅(福島駅より東北本線で6分)下車、徒歩5分
		福島大学附属小学校 (福島市新浜町4-6 電話024-534-6441)	福島駅東口よりバス10分と徒歩1分、徒歩では20分
中学校教諭	美術、家庭	福島大学附属中学校 (福島市浜田町12-26 電話024-534-6442)	福島駅東口よりバス10分と徒歩2分、徒歩では25分
	保健体育	福島県立福島東高等学校(受付) (福島市浜田町12-21 電話024-531-1551) 福島大学附属中学校 (福島市浜田町12-26 電話024-534-6442)	福島駅東口よりバス10分と徒歩5分、徒歩では25分
	音楽、技術	福島市立福島第四中学校 (福島市南平5-8 電話024-535-4240)	福島駅東口よりバス10分と徒歩5分、徒歩では20分
高等学校教諭	保健体育	福島県立福島東高等学校(受付) (福島市浜田町12-21 電話024-531-1551) 福島大学附属中学校 (福島市浜田町12-26 電話024-534-6442)	福島駅東口よりバス10分と徒歩5分、徒歩では25分
	音楽、美術	福島県教育センター (福島市瀬上町字五月田16 電話024-553-3141)	福島学院前駅(福島駅より阿武隈急行で8分)下車、徒歩5分
	家庭	福島県立橘高等学校 (福島市宮下町7-41 電話024-535-3395)	福島駅東口よりバス10分と徒歩2分、徒歩では20分

特別支援学校教諭	小学部 男性受験者	福島市立福島第一中学校 (福島市南町480 電話024-546-3504)	福島駅東口よりバス5分と徒歩 3分、徒歩では20分
	小学部 女性受験者	福島大学附属小学校 (福島市新浜町4-6 電話024-534-6441)	福島駅東口よりバス10分と徒歩 1分、徒歩では20分
	中学部 音楽、美術、家庭、 保健体育、技術	中学校教諭受験者と同じ会場	中学校教諭受験者と同じ交通手 段
	高等部 保健体育、音楽、 美術、家庭	高等学校教諭受験者と同じ会場	高等学校教諭受験者と同じ交通 手段

ウ 日程

(ア) 受付 9:30～9:50 (保健体育は、9:00～9:20)

(各実技試験会場において行います。保健体育の受付は福島東高等学校体育館で行います。)

(イ) 実技試験

○ 小学校、特別支援学校小学部、中学校(技術)、特別支援学校中学部(技術)

10:00～13:00(オリエンテーションを含む。)

○ 中学校(音楽、美術、保健体育、家庭)、特別支援学校中学部(音楽、美術、保健体育、家庭)

高等学校(保健体育、音楽、美術、家庭)、特別支援学校高等部(保健体育、音楽、美術、家庭)

10:00～16:30(オリエンテーション及び昼食を含む。)

※ いずれの校種も、受験者数により終了時刻が前後することがあります。

エ 当日の携行品

(ア) 受験票 (イ) 上履き (ウ) 下足を入れる袋等 (エ) 昼食 (オ) 健康保険証 (カ) マスク

(キ) その他、次の「オ 実技試験内容・留意事項等」に示すもの

オ 実技試験内容・留意事項等

校種	教科	内容・留意事項等
小学校教諭	音楽	<p>※特別選考Ⅱの志願者については、実技試験は実施しません。</p> <p>演奏 次の曲を、自分でピアノ伴奏しながら歌う。 小学校学習指導要領第3学年共通教材より 「茶つみ」(文部省唱歌) ※ 調性は原調でなくてもよいものとします。 ※ ピアノ伴奏譜は、教科書指導書の本伴奏譜又は簡易伴奏譜程度のものとし、楽譜は各自用意してください。</p>
	体育	<p>※特別選考Ⅱの志願者については、実技試験は実施しません。</p> <p>マット運動(開脚前転ー前転ー側方倒立回転ー後転) ※ 運動のできる服装で、屋内のシューズを持参してください。 ※ 縦 15 cm×横 20 cmの白布に志願校種及び受験番号を書き、運動着の胸部と背部に縫い付けておいてください。志願校種及び受験番号は、見やすいように油性ペン等で太く大きく、次の白布記入例のように書いてください。 (白布記入例) ※ 志願校種は次のように略して、受験番号とともに()の指定の色で記入してください。 <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 10px;"> 志願校種 受験番号 </div> <div> 縦 15cm 横 20cm </div> <div style="margin-left: 20px;"> 小学校 → 小(黒で) 特別支援学校小学部 → 特小(赤で) </div> </div> <p>※ 健康管理を十分に行い、けがや事故に注意するとともに、熱中症が心配されますので、水分や塩分の補給を十分に行ってください。(各自、水筒等を持参してください。)</p> <p>※ 疾病等身体的理由により受験できない場合には、申告書(志願校種、受験番号、氏名、理由を明記すること。様式任意。)を用意し、当日の受付及び当該種目実施時に、係員に当該申告書を提示してください。</p> </p>
	共通事項	<p>(ア) 受付で実技試験の班を確認し、さらに受験票と運動着に縫い付けられた白布の受験番号の確認を受けてください。運動着での来場も可能です。</p> <p>(イ) 13:00終了予定ですが、実技の順番や受験者数及び試験の進行状況により、終了時刻が遅れる場合がありますので、昼食を持参してください。</p>

校種	教科	内容・留意事項等								
中学校教諭・高等学校教諭	音楽	<p>(ア) 聴 音</p> <p>⑦ 旋律</p> <p>④ 和声(4声)</p> <p>(イ) 演 奏</p> <p>⑦ 初見視唱と初見視奏(視奏はピアノで行い、一部即興を含む。)</p> <p>④ 器楽(ピアノ) 作曲 J.S. バッハ インヴェンション第11番 g moll BWV782</p> <p>⑦ 声楽 以下の3曲より当日指定する1曲を自分でピアノ伴奏しながら歌う。 (原語による歌唱とし、調性は原調でなくてもよい。楽譜は各自持参すること。)</p> <p>① 作詞 不詳、作曲 G. ジョルダニー 「Caro mio ben」</p> <p>② 作詞 林古溪、作曲 成田為三 「浜辺の歌」</p> <p>③ 作詞 F. ショーバー、作曲 F. シューベルト 「An die Musik」 D. 547</p> <p>※ 当日前奏の一部省略を指示することがあります。</p> <p>④ 自由曲1曲</p> <p>声楽、ピアノ又は他の楽器による演奏とします。ピアノ以外の楽器は各自持参し、試験会場への楽器搬入及び終了後の搬出は各自で行ってください。</p> <p>伴奏を必要とする場合、自主作成した旋律の入っていない伴奏音源及び再生機器を各自持参してください。</p> <p>なお、市販の伴奏CDの使用や第三者を伴奏者として同伴することは認めません。</p>								
	美術	<p>絵画や立体造形の作品表現を通して、描写力や構成力、発想力等をみる問題</p> <p>※ テーマやモチーフについては、当日発表します。</p> <p>※ 中学校受験者は、<u>透明水彩用具一式、不透明水彩用具一式、鉛筆デッサン用具一式、画用紙止めクリップ</u>を準備してください。</p> <p>※ 高等学校受験者は、<u>鉛筆デッサン用具一式</u>を準備してください。</p>								
中学校教諭・高等学校教諭	保健体育	<p>(ア) 実技種目</p> <p>新体力テストの中から次の3種目を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持久走(男子 1500m・女子 1000m) ※雨天時は 20mシャトルラン往復持久走 ・立ち幅とび ・長座体前屈 <p>「新体力テスト実施要項(12歳～19歳対象)スポーツ庁」に沿って行う。ただし、テストの得点は別に定める。</p> <p>(イ) 留意事項</p> <p>⑦ 運動のできる服装で、屋外・屋内両方のシューズを持参してください。</p> <p>④ 縦 15 cm × 横 20 cmの白布に志願校種及び受験番号を書き、運動着の胸部と背部に縫い付けておいてください。志願校種及び受験番号は、見やすいように<u>油性ペン等</u>で<u>太く大きく</u>、次の白布記入例のように書いてください。</p> <p>〈白布記入例〉</p> <table border="1"> <tr> <td>志願校種</td> <td>縦</td> <td rowspan="2"> 中学校保健体育 → 中(赤で) 高等学校保健体育 → 高(黒で) 特別支援学校中学部保健体育 → 特中(赤で) 特別支援学校高等部保健体育 → 特高(黒で) </td> </tr> <tr> <td>受験番号</td> <td>15cm</td> </tr> <tr> <td colspan="2">横 20cm</td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 志願校種は次のように略して、<u>受験番号とともに()</u>の指定の色で記入してください。</p> <p>⑦ 天候等により、屋外種目を屋内で行う場合があります。</p> <p>④ 熱中症が心配されますので、水分や塩分の補給を十分に行ってください。 (各自、水筒等を持参してください。)</p> <p>④ 当日の受付で、実技試験の班を確認し、自分の順番まで所定の場所で待ってください。</p> <p>⑦ 疾病等身体的理由により受験できない実技種目がある場合には、申告書(志願校種、受験番号、氏名、理由、受けられない種目を明記すること。様式任意。)を用意し、当日の受付及び当該種目実施時に、係員に当該申告書を提示してください。</p>	志願校種	縦	中学校保健体育 → 中(赤で) 高等学校保健体育 → 高(黒で) 特別支援学校中学部保健体育 → 特中(赤で) 特別支援学校高等部保健体育 → 特高(黒で)	受験番号	15cm	横 20cm		
志願校種	縦	中学校保健体育 → 中(赤で) 高等学校保健体育 → 高(黒で) 特別支援学校中学部保健体育 → 特中(赤で) 特別支援学校高等部保健体育 → 特高(黒で)								
受験番号	15cm									
横 20cm										

※ 小学校教諭の体育及び中学校教諭・高等学校教諭の保健体育の実技試験内容については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、昨年度と変更しています。

校種	教科	内容・留意事項等
中学校教諭	技術	ものづくり実技試験 ※ 作業のできる服装を準備してください。
	家庭	食生活及び衣生活に関する実技試験 ※ 実習着（エプロン等）、三角巾、裁縫用具一式を準備してください。
高等学校教諭	家庭	(ア) 調理 以下の調理より当日指定します。調理は複数指定する場合があります。 ①ゆで物 ②煮物 ③蒸し物 ④焼き物 ⑤炒め物 ⑥寄せ物 ⑦汁物 ⑧あえ物 ※ 実習着、三角巾を準備してください。 (イ) 被服製作 以下の3品より当日指定する1作品を製作します。 ①ハーフパンツ ②甚平 ③シャツ ※ 実技試験では、これらの作品を縮小したり、部分指定をしたりする場合があります。 ※ 裁縫用具一式を準備してください。
特別支援学校教諭		特別支援学校小学部・中学部・高等部の実技は、それぞれ上記小・中・高等学校に準じます。

(2) 第二次選考試験

ア 小学校教諭、中学校教諭及び養護教諭受験者

- (ア) 期 日 令和2年9月12日(土) 小学校教諭受験者
令和2年9月13日(日) 中学校教諭受験者及び養護教諭受験者
- (イ) 試験会場 福島市立渡利小学校、福島市立杉妻小学校、福島大学附属小学校
※ いずれかの会場を指定します。
- (ウ) 内 容 模擬授業(養護教諭は場面指導)、小論文、個人面接、集団討論及び適性検査
- (エ) そ の 他 日程等の詳細は第一次選考試験合格者に対し、結果通知と併せて連絡します。

イ 高等学校教諭受験者

- (ア) 期 日 令和2年9月19日(土)～21日(月)のうち指定する2日間
- (イ) 試験会場 福島県教育センター
- (ウ) 内 容 模擬授業、小論文、個人面接、集団討論及び適性検査
- (エ) そ の 他 日程等の詳細は第一次選考試験合格者に対し、結果通知と併せて連絡します。

ウ 特別支援学校教諭受験者

- (ア) 期 日 令和2年9月19日(土)～20日(日)
- (イ) 試験会場 福島県立福島明成高等学校
- (ウ) 内 容 模擬授業、小論文、個人面接、集団討論及び適性検査
- (エ) そ の 他 日程等の詳細は第一次選考試験合格者に対し、結果通知と併せて連絡します。

5 配点、評定及び評価方法

(1) 配点及び評定

ア 第一次選考試験

[一般選考]

校種等・教科		筆答試験		実技試験	集団面接	書類審査
		教科試験 (教科に関する教職 教養問題を含む)	教職 教養 (共通)			
小 学 校 教 諭		110 (国語・算数・英語(リスニングを含む)各 20、音楽・体育各 5、社会・理科・図 画工作・家庭各 10)	30	20 (音楽・体育 各10)	A～Cの 3段階	点数化や評 定は行わな い
中 学 校 教 諭	国語、社会、数学、理科、英語	120	30	なし		
	保健体育、音楽、美術	50	30	70		
	技術、家庭	70	30	50		
高 等 学 校 教 諭	国語、地理歴史、公民、数学、 理科、英語、農業、工業、 商業、水産	120	30	なし		
	保健体育、音楽、美術	50	30	70		
	家庭	70	30	50		
養 護 教 諭		120 (養護専門)	30	なし		
特 別 支 援 学 校 教 諭		小学部、中学部、高等部については、それぞれ小学校教諭、 中学校教諭、高等学校教諭と同じ。 ただし、高等部の理療については、高等学校教諭の実技のない 教科と同じ。				

[特別選考Ⅰ]

校種等・教科		筆答試験		実技試験	個人面接	書類審査
		小論文	学習指導案 作成・模擬 授業(※)			
小 学 校 教 諭		50	100	なし	A～Eの 5段階	点数化や評 定は行わな い
中 学 校 教 諭	国語、社会、数学、理科、英語	50	100	なし		
	保健体育、音楽、美術、技術、 家庭	50	50	50		
高 等 学 校 教 諭	国語、地理歴史、公民、数学、 理科、英語、農業、工業、 商業、水産	50	100	なし		
	保健体育、音楽、美術、家庭	50	なし	100		
養 護 教 諭		50	100	なし		
特 別 支 援 学 校 教 諭		50	100	なし		

※ 養護教諭は論述試験、特別支援学校教諭は特別支援教育についての実践的指導内容・方法についての試験

[特別選考Ⅱ]

校種等・教科		筆答試験	実技試験	集団面接	書類審査		
		教科試験 (教科に関する教職教養 問題を含む)					
小 学 校 教 諭		110 (国語・算数・英語 (リスニングを含む) 各20、音楽・ 体育各5、社会・理科・図 画工作・家庭各10)	なし	A～Cの 3段階	点数化や評 定は行わな い		
中 学 校 教 諭	国語、社会、数学、理科、英語	120	なし				
	保健体育、音楽、美術	50	70				
	技術、家庭	70	50				
高 等 学 校 教 諭	国語、地理歴史、公民、数学、 理科、英語、農業、工業、 商業、水産	120	なし				
	保健体育、音楽、美術	50	70				
	家庭	70	50				
養 護 教 諭		120(養護専門)	なし				
特 別 支 援 学 校 教 諭		小学部、中学部、高等部については、それぞれ小学校教諭、 中学校教諭、高等学校教諭と同じ。 ただし、高等部の理療については、高等学校教諭の実技のな い教科と同じ。					

イ 第二次選考試験

小論文	模擬授業 (※)	個人面接	集団討論	書類審査	適性検査	身体検査
50	A～Eの 5段階	A～Eの 5段階	A～Eの 5段階	点数化や評定 は行わない	適否	適否

※ 養護教諭は場面指導

(2) 評価方法

ア 第一次選考試験

	種別	評価方法
一般選考	筆答試験	各教科等の素点の合計をそのまま用います。 小学校教科試験の国語、算数は一定レベル以上であること。
	実技試験	種目ごとに設定した評価基準に基づいて評定し、定められた点数に換算します。
	集団面接	設定した評価基準に基づき、2名の面接者がA～Cの3段階で評定します。 【評価の観点】人間的な魅力、教育に対する情熱や意欲、表現力 等
	書類審査	総合的な選考の資料として用います。
特別選考Ⅰ	小論文	設定した評価基準に基づき、3名の採点者がそれぞれ50点満点で採点し、その平均点を用います。 【評価の観点】主題や課題の理解、論述の仕方や視点、構成、表記 等
	学習指導案作成・模擬授業(養護教諭は論述試験、特別支援学校教諭は特別支援教育についての実践的指導内容・方法についての試験)	設定した評価基準に基づいて評定し、定められた点数に換算します。 【評価の観点】教材に対する理解力、実践的な指導力、表現力 等
	実技試験	種目ごとに設定した評価基準に基づいて評定し、定められた点数に換算します。
	個人面接	設定した評価基準に基づき、2名の面接者がA～Eの5段階で評定します。 【評価の観点】指導力、人間的な魅力、教育に対する情熱や意欲 等
	書類審査	総合的な選考の資料として用います。
特別選考Ⅱ	筆答試験	各教科等の素点の合計をそのまま用います。 小学校教科試験の国語、算数は一定レベル以上であること。
	実技試験	種目ごとに設定した評価基準に基づいて評定し、定められた点数に換算します。
	集団面接	設定した評価基準に基づき、2名の面接者がA～Cの3段階で評定します。 【評価の観点】人間的な魅力、教育に対する情熱や意欲、表現力 等
	書類審査	総合的な選考の資料として用います。

イ 第二次選考試験

種別	評価方法
小論文	設定した評価基準に基づき、3名の採点者がそれぞれ50点満点で採点し、その平均点を用います。 【評価の観点】主題や課題の理解、論述の仕方や視点、構成、表記 等
模擬授業 (養護教諭は場面指導)	設定した評価基準に基づき、複数の評価者がA～Eの5段階で評定します。 【評価の観点】教材に対する理解力、実践的な指導力、表現力 等
個人面接	設定した評価基準に基づき、複数の面接者がA～Eの5段階で評定します。 【評価の観点】指導力や専門性、教育に対する情熱や使命感、倫理観 等
集団討論	設定した評価基準に基づき、複数の評価者がA～Eの5段階で評定します。 【評価の観点】協調性や社会性、表現力、論理性 等
書類審査	総合的な選考の資料として用います。
適性検査	総合的な選考の資料として用います。
身体検査	総合的な選考の資料として用います。

6 出願手続き

(1) 出願書類

志願者は、次の書類をすべて取りそろえて番号順に提出してください。

提出書類	所定用紙	留意事項
志願書	所定用紙①	<p>「志願書記入上の注意」に従って記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 選考区分に応じて、該当する所定用紙を使用してください。 一般選考：所定用紙①－Ａ 特別選考Ⅰ（教職経験者特別選考）：所定用紙①－Ｂ 特別選考Ⅱ（臨時的任用職員等経験者特別選考）：所定用紙①－Ｃ ・ 顔写真は縦40mm×横30mmとし、上半身、無帽で令和2年5月1日以降に撮影したもの。裏に校種等・教科(科目等)・氏名を記入した上で、志願書の所定欄にはがれないようにしっかりと糊付けしてください。 ・ 第一次選考試験免除希望の場合 第一次選考試験免除の資格（「３(5)ア」参照）を有し、第一次選考試験免除を希望する場合は、志願書（所定用紙①－Ａ）を使用し出願するとともに、該当欄に○印と前回受験した際の受験番号を記入してください。 ・ 英語教科試験での加点を希望する場合 英語教科試験での加点の資格（「３(5)イ」参照）を有し、英語教科試験での加点を希望する場合には志願書の該当欄に○印を記入してください。 ・ 「情報」免許状取得での加点を希望する場合 「情報」免許状を有し、教科試験での加点を希望する場合には、志願書の該当欄に○印を記入してください。（「３(5)ウ」参照） ・ 複数免許状取得での加点を希望する場合 小学校教諭、中学校教諭志願者で、複数免許状取得での加点の資格を有し、教科試験での加点を希望する場合には、志願書の該当欄に○印を記入してください。（「３(5)エ」参照） ・ 特別支援学校を第二志望とする場合 特別支援学校を第二志望とする資格（「３(5)オ」参照）を有し、特別支援学校を第二志望とする場合は、志願書の該当欄に○印を記入してください。 ・ 中学校と高等学校との併願を希望する場合 中学校と高等学校との併願する資格（「３(5)カ」参照）を有し、中学校と高等学校との併願を志望とする場合は、志願書の該当欄に○印を記入してください。 ・ 地域採用枠を希望する場合 地域採用枠を希望する資格（「３(5)キ」参照）を有し、地域採用枠を希望する場合は、志願書の該当欄に○印を記入してください。 ・ 合理的配慮の提供を申請する場合 所定用紙①には合理的配慮の提供の有無を記入し、所定用紙①②に申請する配慮の内容について記入してください。 ・ 臨時的任用職員の希望について 「臨時的任用職員としての採用」の欄に、本年度(令和２年度)における福島県公立学校の臨時的任用職員(講師等)としての採用希望の有無を記入してください。 なお、希望者には、後日連絡させていただくことがあります。 (令和３年度の講師申込の手続きについては、別途お知らせします。)
職歴	所定用紙②	所定用紙②の「注」に従って記入してください。職歴のない場合でも提出が必要です。
志願者登録シート	所定用紙③	「志願者登録シート記入要領」に従って記入してください。
定型はがき（63円はがき又は63円切手を貼った同様のもの） ２枚（「願書受付通知書」、「受験票」を各はがきに貼付）	所定用紙④	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所定用紙④にある「願書受付通知書」と「受験票」を切り取り、別々のはがきの裏面にそれぞれ糊付けしてください。（はがれないようしっかりと糊付けしてください。） また、はがき表面には送付先(志願者の郵便番号、住所、氏名)を明記してください。（<u>宛先の氏名には敬称「様」を必ず</u>つけてください。） ・ 受験票用紙には、受験区分・志願校種等・受験教科(選択科目等)・氏名を必ず記入してください。

提出書類	所定用紙	留意事項
教員免許状の コピー等	所定用紙⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所有する教員免許状のコピー（A4判用紙を使用し、表、裏をそれぞれコピーする。裏面に記載事項がない場合は表のみ。教員免許状がA4判以外の場合は、A4判に拡大又は縮小する。）又は授与した都道府県教育委員会が発行した免許状授与証明書を提出してください。 特に、小学校教諭、中学校教諭志願者で、複数免許状取得での加点を希望する場合は、該当する教員免許状のコピー等を忘れずに添付してください。 ・ 教員免許更新講習を修了した者は、更新講習修了確認証明書のコピーも提出してください。 なお、講習の免除又は延期の手続きをした場合は、当該証明書のコピーを提出してください。 ・ 結婚等で免許状の姓が現在の姓と異なる場合は戸籍抄本（志願者本人分の原本）も提出してください。 ・ 現在、出願に必要な校種等、教科の免許状取得中の者は、教育職員免許状取得見込証明書（所定用紙⑤）を使用するか、大学所定の証明書を提出してください。 なお、通信制大学において免許取得中で、見込証明書が発行されない場合は、在籍証明書又は在学証明書を提出してください。 （出願後の入学予定は、免許取得中とは認められません。）
職歴証明書	所定用紙⑥	<p>特別選考Ⅰの志願者のみ提出してください。 所定用紙⑥で任命権者（教育委員会等）から勤務証明を受けてください。 （勤務先の校長ではありませんので注意してください。）</p>
特別選考Ⅱ受 験資格申告書	所定用紙⑦	<p>特別選考Ⅱの志願者のみ提出してください。 該当期間における辞令のコピーについては、出願時に提出する必要はありません。（詳細については、第二次選考試験受験者に連絡します。）</p>
障がいのある志願者 への合理的配慮の提 供に関する申請書	所定用紙⑪	合理的配慮の提供を希望する志願者のみ提出してください。
「身体障害者手 帳」等のコピー		合理的配慮の提供を希望する志願者のみ、本人であることと等級が分かるページのコピーを提出してください。
英語検定等証 明書のコピー		英語教科試験加点の資格（3(5)イ）があり、加点を希望する場合は提出してください。
教科「情報」の 免許状のコピー		教科「情報」の免許状を取得している者で、加点を希望する場合は提出してください。

※ 第二次選考試験受験者は、上記の他に、第二次選考試験当日、「教員採用身体検査書」（所定用紙⑧）等の提出が必要となります。詳細については、該当者に連絡します。

※ 提出書類に記載された志願者に関する個人情報、教員採用に関する業務にのみ利用します。

(2) 出願上の注意

ア 出願に必要な各書類をもれなく取りそろえ、前記(1)の順に重ねて、角形2号の封筒に入れ、封筒の表面に赤で「教員採用志願書」と書いて、必ず簡易書留又は一般書留で郵送してください。なお、持参提出や宅配便等では受理しません。

イ 出願書類不備のものについては、受け付けないことがあります。

ウ 受験資格の要件を欠くことが判明した場合は、受験資格を失います。

エ 出願書類に虚偽の記載等が認められた場合は、合格を取り消します。

オ 第一次選考試験免除の資格を有し、第一次選考試験免除を希望する場合、下記の出願受付期間内に出願してください。

カ 出願書類は志願者が各自提出することを原則としますが、各大学等において志願者の提出書類をとりまとめ、全員分を一括送付することも可能です。その際、提出書類の不備がないか確認してください。

キ 出願書類の受付後、6 月中旬までに「願書受付通知書」を、6 月下旬までに「受験票」をそれぞれ送付します。提出書類に不備がある場合は、「願書受付通知書」で連絡しますので確認してください。

また、「受験票」により、受験番号、第一次選考試験の免除、英語教科試験における加点、複数免許状取得による加点、「情報」の免許状所有による加点、小学校女性受験者の実技試験会場について連絡します。

なお、7 月 3 日(金)までに「受験票」が届かない場合は、「13 問い合わせ先」まで連絡してください。

(3) 出願受付期間及び出願書類送付先

ア 出願受付期間

令和 2 年 5 月 8 日(金)から 5 月 22 日(金)まで

(5 月 22 日の消印有効。5 月 23 日以降の消印のものは受理しません。)

イ 送付先

小学校教諭・中学校教諭・養護教諭志願者

〒960-8688 福島市杉妻町 2-16 福島県教育庁義務教育課 教員採用担当

高等学校教諭志願者

〒960-8688 福島市杉妻町 2-16 福島県教育庁高校教育課 教員採用担当

特別支援学校教諭志願者

〒960-8688 福島市杉妻町 2-16 福島県教育庁特別支援教育課 教員採用担当

7 選考試験結果の通知

(1) 第一次選考試験の結果は、8 月末日までに福島県庁前掲示場に合格者の受験番号を掲示するほか、各人宛に通知します。発表日の詳しい日時は、第一次選考試験の際に連絡します。

(2) 第二次選考試験の結果は、10 月末日までに福島県庁前掲示場に採用候補者名簿登載者の受験番号を掲示するほか、各人宛に通知します。発表日の詳しい日時は、第二次選考試験の際に連絡します。

(3) 選考試験の結果については、第一次・第二次選考試験とも発表日から 1 ヶ月間、福島県教育委員会のウェブページで合格者及び採用候補者名簿登載者の受験番号を公開します。

また、第一次選考試験では筆答試験及び実技試験の平均得点を、第二次選考試験では小論文の平均得点をそれぞれ公開します。(アドレス <https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/edu/>)

8 採用について

(1) 第二次選考の結果、「令和 3 年度福島県公立学校教員採用候補者」を、「採用候補者名簿 A（以下、候補者名簿 A）」と「採用候補者名簿 B（以下、候補者名簿 B）」の 2 種類に分けて登載します。

(2) 「候補者名簿 A」に登載された方は、原則として、令和 3 年 4 月 1 日付で採用します。

(3) 「候補者名簿 B」に登載された方のうち、令和 3 年 4 月 1 日付で採用となる方は令和 2 年 11 月末までに候補者名簿 A に繰り上げになる場合があります、その際は個別に採用通知を送付します。

候補者名簿 B に登載された方のうち、令和 2 年 11 月末までに候補者名簿 A に繰り上げとならなかった方は、令和 4 年度採用候補者選考試験（令和 3 年度実施）において募集のある校種等、教科（科目等）で、本年度と同一の志願種別・校種等・教科（科目等）で志願する場合に限り、所定の手続きを行うことにより第一次選考試験の受験が免除されます。ただし、この取扱いには候補者名簿 B 登載者に該当した年度の翌年度に限るものであることに注意してください。

なお、令和 4 年度採用候補者選考試験（令和 3 年度実施）において第一次選考試験の免除を受けようとする者は、本年度の受験番号が確認できる書類（受験票、第二次選考試験結果通知等）を保管しておいてください。

また、臨時的任用職員等になることを希望する場合は、「令和 3 年度臨時的任用職員等採用候補者名簿」に登載します。

9 次年度第一次選考試験の免除について

本年度、第一次選考試験に合格（併願の場合は第一志望が合格）した者で、第二次選考試験を有効に受験して名簿登載にならなかった受験者（採用辞退者を除く。）については、令和4年度採用候補者選考試験（令和3年度実施）において募集のある校種等、教科（科目等）で、本年度と同一の校種等、教科（科目等）を志願する者は、所定の手続きを行うことにより第一次選考試験の受験が免除されます。

ただし、この取扱いは、第一次選考試験に合格して第二次選考試験を受験し、**名簿登載にならなかった年度の翌年度に限る**ものであることに注意してください。

なお、令和4年度採用候補者選考試験（令和3年度実施）において第一次選考試験の免除を受けようとする者は、本年度の受験番号が確認できる書類（受験票、第二次選考試験結果通知等）を保管しておいてください。

10 大学院前期（修士）課程進学予定者・大学院前期（修士）課程1年生への採用候補者名簿登載の猶予について

本年度、第二次選考試験に合格した者で、国内の大学院・教職大学院前期課程に進学する予定者又は在籍中の者は、所定の手続きを行うことにより最大2年間、採用候補者名簿登載を猶予します。

なお、猶予については、猶予期間が終了したのちは、福島県公立学校新規採用教員になること、及び申し出の猶予期間内で合格した出願区分の校種・教科等の専修免許状を取得することを条件とします。もし、取得できなければ、名簿登載の猶予を取り消すとともに、名簿には登載しません。

名簿登載猶予を希望する者は、別紙＜名簿登載猶予申請の手続き＞を参考に、出願時に「**名簿登載猶予願い**」（所定用紙⑨）を提出してください。

11 選考結果の開示及び問題の閲覧

(1) 選考結果の開示

選考の結果については、福島県個人情報保護条例第17条第1項の規定により、口頭で開示請求をすることができます。

なお、電話、はがき等による請求では開示できませんので、受験票及び受験者本人であることを明らかにする書類（運転免許証、健康保険証、旅券等）を持参の上、受験者本人が直接下記の開示場所においてください。

	開示請求できる者	開 示 内 容	開示期間	開示場所
第 一 次 選 考 試 験	第一次選考試験 受験者	・筆答試験及び実技試験の得点 ・集団面接のランク（A～Cの3段階） （特別選考Ⅰの受験者は、個人面接 ランク（A～Eの5段階）） ・不合格者の中での総合ランク （A～Cの3段階）＜不合格者のみ＞	結果発表 日の翌日から1ヶ月間 （開庁時を除く。）	福島市杉妻町2-16 福島県県政情報センター （福島県庁西庁舎1階） 平日のみ 午前8時30分から正午 午後1時から午後5時
第 二 次 選 考 試 験	第二次選考試験 受験者	・適性検査及び身体検査（提出された もの）の適否 ・小論文の得点 ・模擬授業（養護教諭受験者について は場面指導）、個人面接及び集団討 論のランク（A～Eの5段階）		

(2) 問題の閲覧

下記の場所で、本県公立学校教員採用候補者選考試験第一次試験筆答試験問題（教科試験、教職教養試験及び小論文）及び解答例（教科試験及び教職教養試験）を閲覧することができます。

また、本年度実施の本県公立学校教員採用候補者選考試験については、第一次試験筆答試験問題（教科試験、教職教養試験及び小論文）及び解答例（教科試験及び教職教養試験）を令和2年8月31日（月）より閲覧できます。

閲覧場所	所在地	電話番号
福島県県政情報センター	福島市杉妻町2-16 福島県庁西庁舎1階	024-521-7052
県中県政情報コーナー	郡山市麓山一丁目1-1 県中地方振興局内	024-935-1214
県南県政情報コーナー	白河市昭和町269 県南地方振興局内	0248-23-1503

会 津 県 政 情 報 コ ー ナ ー	会津若松市追手町7-5 会津地方振興局内	0242-29-5214
南会津県政情報コーナー	南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1 南会津地方振興局内	0241-62-5204
相 双 県 政 情 報 コ ー ナ ー	南相馬市原町区錦町1-30 相双地方振興局内	0244-26-1115
いわき県政情報コーナー	いわき市平字梅本15 いわき地方振興局	0246-24-6005
福 島 県 立 図 書 館	福島市森合字西養山1	024-535-3218

12 勤務条件等

(1) 給与(令和2年4月1日現在 新卒の場合)

	大学院(博士課程)	大学院(修士課程)	4年制大学	短期大学
小・中学校教諭	292,716円	249,272円	226,616円	202,604円
県立学校教諭				199,280円

※ 上記の金額は、給料月額、教職調整額、義務教育等教員特別手当の合計です。

※ 6月、12月に期末手当、勤勉手当が支給されます。また、一定の要件を満たす場合には、扶養手当、住居手当、通勤手当等が支給されます。

(2) 勤務時間

週 38 時間 45 分

(3) 休暇

年次有給休暇は1年につき20日です。ほかに、病気休暇や特別休暇（産前産後休暇、夏季休暇、子育て休暇、結婚休暇など）、介護休暇等があります。

(4) 福利厚生

結婚するとき、子どもが生まれるとき、病気やケガをしたとき、災害にあったときなどに、所定の給付を受けることができます。また、人間ドック等の事業も充実していますので、安心して教員生活を送ることができます。

13 問い合わせ先

福島県教育庁 〒960-8688 福島市杉妻町2-16

小・中学校教諭、養護教諭に関すること → 義務教育課 教員採用担当
電話 024-521-7761

高等学校教諭に関すること → 高校教育課 教員採用担当
電話 024-521-7770

特別支援学校教諭に関すること → 特別支援教育課 教員採用担当
電話 024-521-7765

※ 問い合わせは平日の午前8時30分～午後5時15分をお願いします。
(土曜日・日曜日・祝日は閉庁です。)